

TACプレ講義体験セミナー

講義体験セミナー

－ 簿記論 －

日商簿記総復習から始める簿記論

TAC税理士講座 8/30(月)本格開講!※先行クラス8/23(月)～

各コース初回講義を、無料で体験受講することができます。
予約不要で開講日に各校受付に直接、お越しください。当セミナー参加後、
受講を検討される方は是非、ご参加下さい。
※各コース開講日程につきましては「通学パンフレット」をご覧ください。
※受講料がお得になる「早割キャンペーン」は9/1(水)までとなります。

TAC税理士講座

目 次

ページ

はじめに	オリエンテーション	1～3
第1回	見越・繰延／三分法	4～12
第2回	現金過不足・銀行勘定調整	14～18
第3回	約束手形・為替手形	20～25
第4回	減価償却	26～33
第5回	株式会社の簿記一巡	34～39

はじめに

オリエンテーション

◆ 1 税理士試験・簿記論

(1) 出題範囲

簿記論の出題範囲については、前回の本試験において以下のように発表されています。

複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織、商業簿記のほか工業簿記を含む。ただし、原価計算を除く。

出題範囲の中に、工業簿記とありますが、日商簿記検定2級及び1級で学習する原価計算基準の知識は必要ありません。簿記論で学習する工業簿記は、商的工業簿記といわれ、原価計算基準の知識が必要ない工業簿記であり、商業簿記の知識があれば十分対応できます。

(2) 出題形式

3問形式で出題されます。第一問と第二問についてはそれぞれ学者試験委員（大学教授）が担当し、第三問については2名の実務家試験委員（税理士・公認会計士）が担当します。なお、配点は、第一問・第二問がそれぞれ25点、第三問が50点の合計100点となっています。

(3) 出題傾向

① ボリューム及び難易度

日商簿記検定の問題の多くは解答時間内に全て解答できるボリュームですが、税理士試験の簿記論の問題は、非常にボリュームが多く、しっかり勉強した受験生であっても時間内に全て解答することはできません。また、難易度は年によりバラツキが激しく、解答箇所のうち解答できるのがその40%程度の年もあれば、70%程度の年もあります。

② 出題内容

(a) 第一問・第二問（学者試験委員）

学者試験委員の問題は、一題が総合問題、もう一題が個別問題で出題されています。

ここでは、各試験委員の得意論点からよく出題される傾向があります。

(b) 第三問（実務家試験委員）

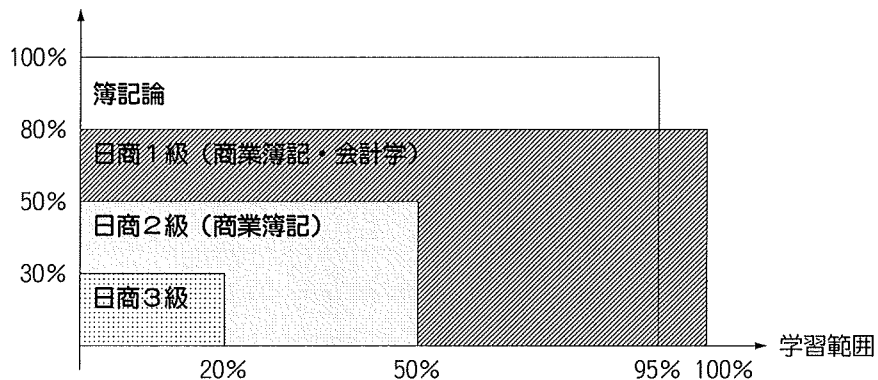
実務家試験委員の問題は、必ず総合問題で出題され、そのほとんどが決算整理型の問題です。ここでは、実務に直結した論点からよく出題される傾向があります。

◆2 税理士試験と日商簿記検定試験の学習範囲

(1) 学習範囲の関係

日商簿記検定試験と税理士試験の簿記論の学習範囲等の関係を示すと下記の通りになります。皆さんが日商簿記検定の学習により得た知識は、簿記論の受験にあたりフル活用できますし、受験勉強においても大きなアドバンテージを有しています。

問題の難易度・ボリューム



(2) 学習項目の相違点

簿記論の学習項目	日商簿記検定		
	3級	2級	1級
簿記一巡の手続	○	○	○
一般商品売買・棚卸資産	○	○	◎
特殊商品売買	×	○	○
現金・預金	○	○	◎
金銭債権・手形	○	◎	◎
有価証券	○	○	◎
有形固定資産・リース取引・減損会計	○	○	◎
無形固定資産・ソフトウェア	×	○	◎
繰延資産	×	○	○
研究開発費	×	×	○
貸倒引当金・その他の引当金	○	○	◎
人件費・退職給付会計	×	○	○
金銭債務・社債	×	○	◎
株主資本	×	○	◎
新株予約権	×	×	◎
税金・税効果会計	×	○	◎
外貨建取引等	×	×	◎
製造業会計	×	○	◎
本支店会計	×	○	○
建設業会計	×	×	◎
帳簿組織	×	○	○
推定簿記	×	×	×
組織再編・企業結合会計	×	×	◎
財務諸表	×	○	◎
連結財務諸表	×	×	◎

◎…知識に関して問題なし（ただし、出題傾向・出題形式は異なる）

○…基礎知識は問題ないが、さらに知識の習得が必要

×…未学習

第1回

見越・繰延／三分法

◆1 費用・収益の見越・繰延

費用・収益の見越・繰延については、日商3級での学習範囲であるにも係わらず、全く理解できていないことが多い。税理士試験の学習においては、その学習の前提ともいえる論点であるため、しっかりと復習する必要がある。

(1) 費用の繰延

① 当期末（決算整理仕訳）

（前	払	費	用）	×××	（費		用）	×××
----	---	---	----	-----	----	--	----	-----

② 翌期首（再振替仕訳）

（費		用）	×××	（前	払	費	用）	×××
----	--	----	-----	----	---	---	----	-----

(2) 費用の見越

① 当期末（決算整理仕訳）

（費		用）	×××	（未	払	費	用）	×××
----	--	----	-----	----	---	---	----	-----

② 翌期首（再振替仕訳）

（未	払	費	用）	×××	（費		用）	×××
----	---	---	----	-----	----	--	----	-----

(3) 収益の繰延

① 当期末（決算整理仕訳）

（収		益）	×××	（前	受	収	益）	×××
----	--	----	-----	----	---	---	----	-----

② 翌期首（再振替仕訳）

（前	受	収	益）	×××	（収		益）	×××
----	---	---	----	-----	----	--	----	-----

(4) 収益の見越

① 当期末（決算整理仕訳）

（未	収	収	益）	×××	（収		益）	×××
----	---	---	----	-----	----	--	----	-----

② 翌期首（再振替仕訳）

（収		益）	×××	（未	収	収	益）	×××
----	--	----	-----	----	---	---	----	-----

◆2 三分法

三分法は、商品売買の会計処理として最も税理士試験において出題される方法である。したがって、しっかり復習する必要がある。

(1) 仕入時

(仕	入)	×××	(買	掛	金)	×××
----	----	-----	----	---	----	-----

(2) 売上時

(売	掛	金)	×××	(売	上)	×××
----	---	----	-----	----	----	-----

(3) 決算時（売上原価を仕入勘定で算定する場合）

(仕	入)	×××	(繰	越	商	品)	×××
(繰	越	商	品)	×××	(仕	入)	×××

~~~~~

**問 題 1** 費用・収益の見越・繰延(1)

**基礎**

—⌚10分—

当店（会計期間：1月1日～12月31日の1年間）に関する下記の資料を基に、次の設問1及び設問2における各問に答えなさい。

設問1 当期に関する処理について

- 問1 期中取引に関する仕訳を示しなさい。
- 問2 決算整理仕訳を示しなさい。
- 問3 各勘定の記入を行いなさい（締切も行うこと。）。

設問2 翌期に関する処理について

- 問1 再振替仕訳を示しなさい。
- 問2 各勘定の記入を行いなさい（締切も行うこと。）。

**【資 料】**

(1) 当期

5月1日に1年間の契約で土地を賃借した。また、同日に1年分の地代6,000円を一括して現金で支払った。

(2) 翌期

4月30日に上記(1)の土地の賃貸借契約が満了となった。

**答案用紙 1** 費用・収益の見越・繰延(1)

設問 1 当期に関する処理について

問 1 期中取引に関する仕訳

(単位：円)

| 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|---------|-----|---------|-----|
|         |     |         |     |

問 2 決算整理仕訳

(単位：円)

| 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|---------|-----|---------|-----|
|         |     |         |     |

問 3 各勘定の記入 (単位：円)

| ( ) 地 代 |  |
|---------|--|
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |

| 支 払 地 代 |  |
|---------|--|
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |

設問 2 翌期に関する処理について

問 1 再振替仕訳

(単位：円)

| 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|---------|-----|---------|-----|
|         |     |         |     |

問 2 各勘定の記入 (単位：円)

| ( ) 地 代 |  |
|---------|--|
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |

| 支 払 地 代 |  |
|---------|--|
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |
|         |  |

**解 答 1** 費用・収益の見越・繰延(1)

設問1 当期に関する処理について

問1 期中取引に関する仕訳

(単位:円)

| 借 方 科 目 | 金 額   | 貸 方 科 目 | 金 額   |
|---------|-------|---------|-------|
| 支 払 地 代 | 6,000 | 現 金     | 6,000 |

問2 決算整理仕訳

(単位:円)

| 借 方 科 目 | 金 額   | 貸 方 科 目 | 金 額   |
|---------|-------|---------|-------|
| 前 払 地 代 | 2,000 | 支 払 地 代 | 2,000 |

問3 各勘定の記入(単位:円)

(前 払) 地 代

|              |       |              |       |
|--------------|-------|--------------|-------|
| 12/31支 払 地 代 | 2,000 | 12/31次 期 繰 越 | 2,000 |
|--------------|-------|--------------|-------|

支 払 地 代

|        |       |              |       |
|--------|-------|--------------|-------|
| 5/1現 金 | 6,000 | 12/31前 払 地 代 | 2,000 |
|        |       | ” 損 益        | 4,000 |
|        | 6,000 |              | 6,000 |

設問2 翌期に関する処理について

問1 再振替仕訳

(単位:円)

| 借 方 科 目 | 金 額   | 貸 方 科 目 | 金 額   |
|---------|-------|---------|-------|
| 支 払 地 代 | 2,000 | 前 払 地 代 | 2,000 |

問2 各勘定の記入(単位:円)

(前 払) 地 代

|            |       |            |       |
|------------|-------|------------|-------|
| 1/1前 期 繰 越 | 2,000 | 1/1支 払 地 代 | 2,000 |
|------------|-------|------------|-------|

支 払 地 代

|            |       |          |       |
|------------|-------|----------|-------|
| 1/1前 払 地 代 | 2,000 | 12/31損 益 | 2,000 |
|------------|-------|----------|-------|

## 問 題 2 費用・収益の見越・繰延(2)

基礎

—Ⓐ15分—

A社の当期末決算整理前における残高試算表は次のとおりである。よって、次の決算整理事項により、(1)当期末における決算整理仕訳を示すとともに、(2)決算整理後残高試算表を作成しなさい。

## 【資料Ⅰ】

| 決算整理前残高試算表 |        |           |        | (単位：円) |  |
|------------|--------|-----------|--------|--------|--|
| 支 払 地 代    | 38,500 | 受 取 手 数 料 | 46,100 |        |  |
| 支 払 利 息    | 27,000 | 受 取 利 息   | 15,600 |        |  |

## 【資料Ⅱ】決算整理事項

- ① 支払地代の見越高 3,500円
- ② 支払利息の繰延高 1,700円
- ③ 受取手数料の繰延高 4,200円
- ④ 受取利息の見越高 3,100円

## 答案用紙 2 費用・収益の見越・繰延(2)

(1)

(単位：円)

|   | 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|---|---------|-----|---------|-----|
| ① |         |     |         |     |
| ② |         |     |         |     |
| ③ |         |     |         |     |
| ④ |         |     |         |     |

(2)

| 決算整理後残高試算表  |  |               |  | (単位：円) |  |
|-------------|--|---------------|--|--------|--|
| 支 払 地 代 ( ) |  | 受 取 手 数 料 ( ) |  |        |  |
| 支 払 利 息 ( ) |  | 受 取 利 息 ( )   |  |        |  |
| ( ) ( )     |  | ( ) ( )       |  |        |  |
| ( ) ( )     |  | ( ) ( )       |  |        |  |

**解 答 2** 費用・収益の見越・繰延(2)

(1)

(単位：円)

|   | 借 方 科 目   | 金 額   | 貸 方 科 目   | 金 額   |
|---|-----------|-------|-----------|-------|
| ① | 支 払 地 代   | 3,500 | 未 払 地 代   | 3,500 |
| ② | 前 払 利 息   | 1,700 | 支 払 利 息   | 1,700 |
| ③ | 受 取 手 数 料 | 4,200 | 前 受 手 数 料 | 4,200 |
| ④ | 未 収 利 息   | 3,100 | 受 取 利 息   | 3,100 |

(2)

決算整理後残高試算表

(単位：円)

|                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 支 払 地 代 ( 42,000 )  | 受 取 手 数 料 ( 41,900 )  |
| 支 払 利 息 ( 25,300 )  | 受 取 利 息 ( 18,700 )    |
| (前 払 利 息) ( 1,700 ) | (未 払 地 代) ( 3,500 )   |
| (未 収 利 息) ( 3,100 ) | (前 受 手 数 料) ( 4,200 ) |

**問 題 3** 三分法

**基礎**

—⌚10分—

下記の資料に基づいて、三分法（仕入勘定で売上原価を算定する方法）で処理した場合の仕訳及び各種試算表を示しなさい。なお、仕訳不要の場合はその旨を明記すること。また、売買はすべて掛とする。

【資 料】

|             | 原 価     | 売 価     |
|-------------|---------|---------|
| (1) 期 首 商 品 | 600円    | —       |
| (2) 仕 入 高   | 13,200円 | —       |
| (3) 売 上 高   | 12,000円 | 20,000円 |
| (4) 期 末 商 品 | 1,800円  | —       |

答案用紙 3

三分法

## 1 期首試算表

| 期 首 試 算 表 (単位: 円) |     |
|-------------------|-----|
| 繰 越 商 品           | 600 |

## 2 期中仕訳

(単位: 円)

|    | 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|----|---------|-----|---------|-----|
| 仕入 |         |     |         |     |
| 売上 |         |     |         |     |

## 3 決算整理前試算表

| 決算整理前残高試算表 (単位: 円) |         |
|--------------------|---------|
| ( ) ( )            | ( ) ( ) |
| ( ) ( )            |         |

## 4 決算整理仕訳

(単位: 円)

| 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|---------|-----|---------|-----|
|         |     |         |     |
|         |     |         |     |

## 5 決算整理後試算表

| 決算整理後残高試算表 (単位: 円) |         |
|--------------------|---------|
| ( ) ( )            | ( ) ( ) |
| ( ) ( )            |         |

## 6 決算振替仕訳 (収益・費用の振替仕訳のみ)

(単位: 円)

| 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|---------|-----|---------|-----|
|         |     |         |     |
|         |     |         |     |

## 7 繰越試算表

| 繰 越 試 算 表 (単位: 円) |  |
|-------------------|--|
| ( ) ( )           |  |

# 解 答 3 三分法

## 1 期首試算表

| 期 首 試 算 表 (単位：円) |     |
|------------------|-----|
| 繰 越 商 品          | 600 |

## 2 期中仕訳

(単位：円)

|    | 借 方 科 目 | 金 額    | 貸 方 科 目 | 金 額    |
|----|---------|--------|---------|--------|
| 仕入 | 仕 入     | 13,200 | 買 掛 金   | 13,200 |
| 売上 | 売 掛 金   | 20,000 | 売 上     | 20,000 |

## 3 決算整理前試算表

| 決算整理前残高試算表 (単位：円) |                 |
|-------------------|-----------------|
| (繰 越 商 品)( 600 )  | (売 上)( 20,000 ) |
| (仕 入)( 13,200 )   |                 |

## 4 決算整理仕訳

(単位：円)

| 借 方 科 目 | 金 額   | 貸 方 科 目 | 金 額   |
|---------|-------|---------|-------|
| 仕 入     | 600   | 繰 越 商 品 | 600   |
| 繰 越 商 品 | 1,800 | 仕 入     | 1,800 |

## 5 決算整理後試算表

| 決算整理後残高試算表 (単位：円)  |                 |
|--------------------|-----------------|
| (繰 越 商 品)( 1,800 ) | (売 上)( 20,000 ) |
| (仕 入)( 12,000 )    |                 |

## 6 決算振替仕訳（収益・費用の振替仕訳のみ）

(単位：円)

| 借 方 科 目 | 金 額    | 貸 方 科 目 | 金 額    |
|---------|--------|---------|--------|
| 売 上     | 20,000 | 損 益     | 20,000 |
| 損 益     | 12,000 | 仕 入     | 12,000 |

## 7 繰越試算表

| 繰 越 試 算 表 (単位：円)   |  |
|--------------------|--|
| (繰 越 商 品)( 1,800 ) |  |

<メ モ>

## 第2回

# 現金過不足・銀行勘定調整

### ◆1 現金過不足

現金過不足については、日商3級での学習範囲であるにも係わらず、全く理解できていないことが多い。税理士試験の学習においては、初歩的な論点であるため、しっかりと復習する必要がある。

- (1) 現金実査時：現金勘定残高を実際有高に修正し、その過不足額を現金過不足勘定へ振り替える。
- (2) 原因判明時：現金過不足勘定から適正勘定へ振り替える。
- (3) 決算時：原因不明分を雑損失（雑損）勘定または雑収入（雑益）勘定へ振り替える。

なお、決算時に判明した現金過不足については、現金過不足勘定ではなく、現金勘定を直接修正するのが一般的である。

### ◆2 銀行勘定調整

当座預金のうち銀行勘定調整については、毎回のように入税理士試験において出題されており、基礎的な論点であるため、しっかりと復習する必要がある。

| 銀行勘定調整表     |             |     |             |     |  |
|-------------|-------------|-----|-------------|-----|--|
| 修正処理<br>を行う | 当座預金勘定残高    | ××× | 銀行証明書残高     | ××× |  |
|             | (加算) 未渡小切手※ | ××  | (加算) 時間外預入  | ××  |  |
|             | 振込未記帳       | ××  |             |     |  |
|             | 誤記帳         | ××  |             |     |  |
|             | (減算) 引落未記帳  | ××  | (減算) 未取付小切手 | ××  |  |
|             | 誤記帳         | ××  |             |     |  |
|             | 修正後残高       | ××× | 修正後残高       | ××× |  |
| 適正金額で一致     |             |     |             |     |  |

※ 費用の支払に係る未渡小切手⇒未払金勘定を相手勘定として修正処理を行う。

## 問 題 4 現金過不足

基礎

— 10分 —

次の取引を仕訳し、現金過不足勘定に転記し締切りなさい。ただし、日付については取引番号(1)～(3)を用いること。

- (1) 現金の実地調査を行った結果、実際有高は6,500円であった。なお、帳簿残高は7,000円であった。
- (2) 上記(1)の過不足の原因を調べたところ、以下の事実が判明した。
  - ① 買掛金の現金支払額700円が記帳漏れであった。
  - ② 売掛金の現金回収額400円が記帳漏れであった。
- (3) 本日決算日。

## 答案用紙 4 現金過不足

(単位：円)

|     | 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|-----|---------|-----|---------|-----|
| (1) |         |     |         |     |
| (2) | ①       |     |         |     |
|     | ②       |     |         |     |
| (3) |         |     |         |     |

現金過不足

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**解 答 4** 現金過不足

(単位：円)

|     | 借 方 科 目     | 金 額 | 貸 方 科 目   | 金 額 |
|-----|-------------|-----|-----------|-----|
| (1) | 現 金 過 不 足   | 500 | 現 金       | 500 |
| (2) | ① 買 掛 金     | 700 | 現 金 過 不 足 | 700 |
|     | ② 現 金 過 不 足 | 400 | 売 掛 金     | 400 |
| (3) | 雑 損 失       | 200 | 現 金 過 不 足 | 200 |

現 金 過 不 足 (単位：円)

|           |     |           |     |
|-----------|-----|-----------|-----|
| (1) 現 金   | 500 | (2) 買 掛 金 | 700 |
| (2) 売 掛 金 | 400 | (3) 雑 損 失 | 200 |
|           | 900 |           | 900 |

## 問 題 5 銀行勘定調整

基礎

— 10分 —

問 1 決算整理仕訳を示しなさい。

問 2 銀行勘定調整表を作成しなさい。なお、不一致原因については、簡潔に記載すればよい。

## 【資 料】

決算日における当社の当座預金勘定残高は334,000円、銀行残高証明書残高は470,000円であり、不一致の原因を調査したところ次の事実が判明した。

- (1) 決算日に現金120,000円を預け入れたが、営業時間外であったため、銀行では翌日付で入金処理されていた。
- (2) 仕入先A社に対して買掛金90,000円の支払いのために振り出した小切手が、銀行に支払呈示されていなかった。
- (3) 仕入先B社に対する買掛金30,000円及び営業費10,000円の支払いのために振り出した小切手が、未渡しであった。
- (4) 得意先C社より売掛金150,000円が当座預金に振り込まれていたが、その連絡が当社に未達であった。
- (5) 営業費15,000円が当座預金から引き落とされていたが、その連絡が当社に未達であった。
- (6) 当社では、得意先D社からの売掛金60,000円の振込額を誤って69,000円と処理していた。

## 答案用紙 5 銀行勘定調整

問 1 (単位: 円)

|     | 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|-----|---------|-----|---------|-----|
| (3) |         |     |         |     |
| (4) |         |     |         |     |
| (5) |         |     |         |     |
| (6) |         |     |         |     |

問 2 (単位: 円)

## 銀行勘定調整表

|          |  |         |  |
|----------|--|---------|--|
| 当座預金勘定残高 |  | 銀行証明書残高 |  |
| (加算)     |  | (加算)    |  |
|          |  |         |  |
| (減算)     |  | (減算)    |  |
|          |  |         |  |
| 修正後残高    |  | 修正後残高   |  |

## 解 答 5 銀行勘定調整

問1 (単位: 円)

|     | 借 方 科 目 | 金 額     | 貸 方 科 目 | 金 額     |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| (3) | 当 座 預 金 | 40,000  | 買 掛 金   | 30,000  |
|     |         |         | 未 払 金   | 10,000  |
| (4) | 当 座 預 金 | 150,000 | 売 掛 金   | 150,000 |
| (5) | 営 業 費   | 15,000  | 当 座 預 金 | 15,000  |
| (6) | 売 掛 金   | 9,000   | 当 座 預 金 | 9,000   |

問2 (単位: 円)

### 銀行勘定調整表

|            |         |             |         |
|------------|---------|-------------|---------|
| 当座預金勘定残高   | 334,000 | 銀行証明書残高     | 470,000 |
| (加算) 未渡小切手 | 40,000  | (加算) 時間外預入  | 120,000 |
| 振込未記帳      | 150,000 |             |         |
| (減算) 引落未記帳 | 15,000  | (減算) 未取付小切手 | 90,000  |
| 誤 記 帳      | 9,000   |             |         |
| 修 正 後 残 高  | 500,000 | 修 正 後 残 高   | 500,000 |

【解答への道】(単位: 円)

1 売掛金回収誤記帳

① 適正な仕訳

当 座 預 金      60,000    /    売 掛 金      60,000

② 当社が行った仕訳

当 座 預 金      69,000    /    売 掛 金      69,000

③ 修正仕訳 (①-②)

売 掛 金      9,000    /    当 座 預 金      9,000

<メ モ>

## 第3回

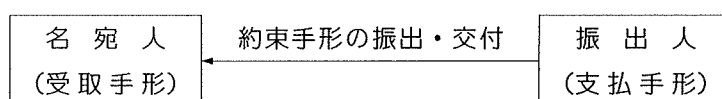
## 約束手形・為替手形

### ◆1 約束手形・為替手形

手形については、日商3級での学習範囲であるにも係わらず、(他人宛)為替手形の会計処理が全く理解できていないことが多い。税理士試験の学習においては、基礎的な論点であるため、しっかりと復習する必要がある。

#### (1) 約束手形

約束手形の振出により、振出人には手形債務が生じ、名宛人には手形債権が生ずるが、手形債務は支払手形勘定で、手形債権は受取手形勘定で処理を行う。



##### ① 振出人(支払人)

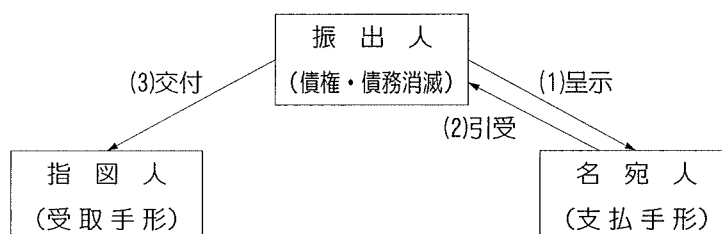
(○ ○ ○) ××× (支払手形) ×××

##### ② 名宛人(受取人)

(受取手形) ××× (○ ○ ○) ×××

#### (2) 為替手形

為替手形の振出により、名宛人には手形債務が生じ、指図人には手形債権が生ずるが、手形債務は支払手形勘定で手形債権は受取手形勘定で処理を行う。なお、振出人については、名宛人に対する債権と指図人に対する債務が消滅するだけで、手形上の債権・債務は一切生じない。



- (1) 振出人（振出人は、名宛人に対する債権と指図人に対する債務の相殺を行う）

|    |   |    |     |    |   |    |     |
|----|---|----|-----|----|---|----|-----|
| （買 | 掛 | 金） | ××× | （売 | 掛 | 金） | ××× |
|----|---|----|-----|----|---|----|-----|

- (2) 名宛人（支払人）

|    |   |    |     |    |   |   |    |     |
|----|---|----|-----|----|---|---|----|-----|
| （買 | 掛 | 金） | ××× | （支 | 払 | 手 | 形） | ××× |
|----|---|----|-----|----|---|---|----|-----|

- (3) 指図人（受取人）

|    |   |   |    |     |    |   |    |     |
|----|---|---|----|-----|----|---|----|-----|
| （受 | 取 | 手 | 形） | ××× | （売 | 掛 | 金） | ××× |
|----|---|---|----|-----|----|---|----|-----|

## ◆2 手形の譲渡

手形の譲渡については、基礎的な論点であるため、しっかりと復習する必要がある。

- (1) 手形の裏書

|    |   |    |     |    |   |   |    |     |
|----|---|----|-----|----|---|---|----|-----|
| （○ | ○ | ○） | ××× | （受 | 取 | 手 | 形） | ××× |
|----|---|----|-----|----|---|---|----|-----|

- (2) 手形の割引

|    |   |   |    |     |     |   |   |    |     |
|----|---|---|----|-----|-----|---|---|----|-----|
| （現 | 金 | 預 | 金） | ××× | （受  | 取 | 手 | 形） | ××× |
| （手 | 形 | 売 | 却  | 損）  | ××× |   |   |    |     |

~~~~~

問 題 6 約束手形

基礎

— 5 分 —

次の取引の仕訳を示しなさい。なお、商品売買については三分法によること。また、収支は当座預金によること。

- (1) 仕入先甲商店より商品70,000円を仕入れ、同額の約束手形を振り出した。
- (2) 得意先乙商店から売掛金の回収として同店振出の約束手形45,000円を受け取った。
- (3) 上記(1)及び(2)の手形がすべて決済された旨の通知を銀行より受けた。

答案用紙 6 約束手形

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				

解 答 6 約束手形

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	仕 入	70,000	支 払 手 形	70,000
(2)	受 取 手 形	45,000	売 掛 金	45,000
(3)	支 払 手 形	70,000	当 座 預 金	70,000
	当 座 預 金	45,000	受 取 手 形	45,000

問 題 7 為替手形

基礎

— ㊦ 8 分 —

次の取引について各商店の仕訳を示しなさい。なお、収支は当座預金によること。また、仕訳不要の場合には、借方科目欄に「仕訳なし」と記入すること。

- (1) A商店は、B商店に対する買掛金100,000円の決済として、かねてより売掛金を有する得意先C商店を名宛人とする為替手形を振出し、C商店の引受けを得てB商店へ渡した。
- (2) 上記手形の満期日（支払期日）となり、C商店は取引銀行より決済された旨の連絡を受けた。なお、B商店も取引銀行より取立済の連絡を受け、A商店に通知した。

答案用紙 7 為替手形

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	A商店				
	B商店				
	C商店				
(2)	A商店				
	B商店				
	C商店				

解 答 7 為替手形

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	A商店	買 掛 金	100,000	売 掛 金	100,000
	B商店	受 取 手 形	100,000	売 掛 金	100,000
	C商店	買 掛 金	100,000	支 払 手 形	100,000
(2)	A商店	仕 訳 な し			
	B商店	当 座 預 金	100,000	受 取 手 形	100,000
	C商店	支 払 手 形	100,000	当 座 預 金	100,000

問 題 8 裏書譲渡

基礎

— 8 分 —

次の取引について各商店の仕訳を示しなさい。なお、仕訳不要の場合には、借方科目欄に「仕訳なし」と記入すること。

- (1) A商店は、仕入先B商店に対する買掛金30,000円の決済として、C商店振出の約束手形30,000円を裏書譲渡した。
- (2) B商店は、C商店に対する未払金30,000円の決済として、上記(1)の約束手形を裏書譲渡した。
なお、C商店は、この債権を未収金として処理している。

答案用紙 8 裏書譲渡

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	A商店				
	B商店				
	C商店				
(2)	A商店				
	B商店				
	C商店				

解 答 8 裏書譲渡

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	A商店	買 掛 金	30,000	受 取 手 形	30,000
	B商店	受 取 手 形	30,000	売 掛 金	30,000
	C商店	仕 訳 な し			
(2)	A商店	仕 訳 な し			
	B商店	未 払 金	30,000	受 取 手 形	30,000
	C商店	支 払 手 形	30,000	未 収 金	30,000

問題 9 手形の割引

基礎

— 4 分 —

次の取引についてA商店及び甲商店の仕訳を示しなさい。

- (1) A商店は、C商店振出の約束手形20,000円を取引銀行で割り引き、割引料1,400円を差し引かれた残額を当座預金とした。
- (2) 甲商店は、得意先乙商店から売掛金の回収として受け取った同店振出、丙商店引受の為替手形30,000円を取引銀行で割り引き、割引料2,250円を差し引かれた残額を当座預金とした。

答案用紙 9 手形の割引

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	A商店				
(2)	甲商店				

解 答 9 手形の割引

(単位：円)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	A商店	当 座 預 金	18,600	受 取 手 形	20,000
		手 形 売 却 損	1,400		
(2)	甲商店	当 座 預 金	27,750	受 取 手 形	30,000
		手 形 売 却 損	2,250		

第4回

減価償却

◆ 減価償却

減価償却における減価償却方法及び記帳方法は基礎的な論点であるため、再度確認する必要がある。

(1) 減価償却方法

定 額 法	$(\text{取得原価} - \text{残存価額}) \times \frac{1 \text{ 年}}{\text{耐用年数}} = \text{年間減価償却費}$
定 率 法	$(\text{取得原価} - \text{減価償却累計額}) \times \text{償却率} = \text{年間減価償却費}$
生産高比例法	$(\text{取得原価} - \text{残存価額}) \times \frac{\text{当期利用量}}{\text{総利用可能量}} = \text{減価償却費} ※$

※ 生産高比例法は、期中取得等の場合でも月割計算は行わない。

(2) 記帳方法

① 間接控除法

間接控除法とは、減価償却費を有形固定資産勘定から直接控除せずに、減価償却累計額勘定に計上する方法である。なお、減価償却累計額勘定は、有形固定資産の帳簿価額を示すための評価勘定である。

② 直接控除法

直接控除法とは、減価償却費を有形固定資産勘定から直接控除する方法である。

~~~~~

## 問 題 10 減価償却(1)

基礎

— 10分 —

下記の【資料】に基づいて、次の問に答えなさい。

問 1 (1)決算整理仕訳及び(2)決算整理後残高試算表を示しなさい。

問 2 仮に直接控除法で記帳した場合の、(1)決算整理前残高試算表、(2)決算整理仕訳及び(3)決算整理後残高試算表を示しなさい。

## 【資 料】

(1) 当期は×3年4月1日から×4年3月31日までの1年間。

| 決算整理前残高試算表 |   |         |           | (単位：千円) |
|------------|---|---------|-----------|---------|
| 建          | 物 | 100,000 | 建物減価償却累計額 | 22,500  |
| 備          | 品 | 40,000  | 備品減価償却累計額 | 17,500  |

(3) 決算整理事項

有形固定資産について減価償却を行う。なお、残存価額は取得原価の10%である。

| 種 類 | 償却方法  | 耐用年数 | 備 考      |
|-----|-------|------|----------|
| 建 物 | 定 額 法 | 40年  |          |
| 備 品 | 定 率 法 | 8 年  | 償却率0.250 |

答案用紙10 減価償却(1)

問1

(1) 決算整理仕訳

① 建物 (単位：千円)

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|------|----|------|----|
|      |    |      |    |

② 備品 (単位：千円)

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|------|----|------|----|
|      |    |      |    |

(2)

決算整理後残高試算表 (単位：千円)

|             |               |
|-------------|---------------|
| 建物 ( )      | 建物減価償却累計額 ( ) |
| 備品 ( )      | 備品減価償却累計額 ( ) |
| 建物減価償却費 ( ) |               |
| 備品減価償却費 ( ) |               |

問2

(1)

決算整理前残高試算表 (単位：千円)

|        |  |
|--------|--|
| 建物 ( ) |  |
| 備品 ( ) |  |

(2) 決算整理仕訳

① 建物 (単位：千円)

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|------|----|------|----|
|      |    |      |    |

② 備品 (単位：千円)

| 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|------|----|------|----|
|      |    |      |    |

(3)

決算整理後残高試算表 (単位：千円)

|             |  |
|-------------|--|
| 建物 ( )      |  |
| 備品 ( )      |  |
| 建物減価償却費 ( ) |  |
| 備品減価償却費 ( ) |  |

解 答 10

減価償却(1)

## 問 1

## (1) 決算整理仕訳

## ① 建物 (単位：千円)

| 借 方 科 目       | 金 額   | 貸 方 科 目   | 金 額   |
|---------------|-------|-----------|-------|
| 建 物 減 価 償 却 費 | 2,250 | 建物減価償却累計額 | 2,250 |

## ② 備品 (単位：千円)

| 借 方 科 目       | 金 額   | 貸 方 科 目   | 金 額   |
|---------------|-------|-----------|-------|
| 備 品 減 価 償 却 費 | 5,625 | 備品減価償却累計額 | 5,625 |

## (2)

## 決算整理後残高試算表 (単位：千円)

|                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 建 物 ( 100,000 )         | 建物減価償却累計額 ( 24,750 ) |
| 備 品 ( 40,000 )          | 備品減価償却累計額 ( 23,125 ) |
| 建 物 減 価 償 却 費 ( 2,250 ) |                      |
| 備 品 減 価 償 却 費 ( 5,625 ) |                      |

## 問 2

## (1)

## 決算整理前残高試算表 (単位：千円)

|                |  |
|----------------|--|
| 建 物 ( 77,500 ) |  |
| 備 品 ( 22,500 ) |  |

## (2) 決算整理仕訳

## ① 建物 (単位：千円)

| 借 方 科 目       | 金 額   | 貸 方 科 目 | 金 額   |
|---------------|-------|---------|-------|
| 建 物 減 価 償 却 費 | 2,250 | 建 物     | 2,250 |

## ② 備品 (単位：千円)

| 借 方 科 目       | 金 額   | 貸 方 科 目 | 金 額   |
|---------------|-------|---------|-------|
| 備 品 減 価 償 却 費 | 5,625 | 備 品     | 5,625 |

## (3)

## 決算整理後残高試算表 (単位：千円)

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 建 物 ( 75,250 )          |  |
| 備 品 ( 16,875 )          |  |
| 建 物 減 価 償 却 費 ( 2,250 ) |  |
| 備 品 減 価 償 却 費 ( 5,625 ) |  |

問 題 11 減価償却(2)

基礎

—(Y)10分—

下記の【資料】に基づいて、次の場合における(1)決算整理前残高試算表、(2)決算整理仕訳及び(3)決算整理後残高試算表を示しなさい。

問 1 間接控除法を採用した場合

問 2 直接控除法を採用した場合

【資 料】

- (1) 当期は×10年4月1日から×11年3月31日までである。
- (2) 減価償却に関する資料は下記のとおりである。当期に取得したものは月割で計算すること。

なお、過年度における償却過不足はない。残存価額は取得原価の10%とする。

| 種 類 | 取 得 原 価  | 償却方法 | 耐用年数 | 償却率  | 取 得 日 | 備 考 |
|-----|----------|------|------|------|-------|-----|
| 建 物 | 700,000円 | 定額法  | 20年  | ——   | ×1年4月 | ——  |
| 車 両 | 200,000円 | 定率法  | 8年   | 0.25 | ×9年4月 | (注) |

(注) 車両のうち60,000円は当期の10月1日に取得したものである。

答案用紙11

減価償却(2)

問 1

(1) 決算整理前残高試算表 (単位: 円)

|   |   |                      |           |                      |
|---|---|----------------------|-----------|----------------------|
| 建 | 物 | <input type="text"/> | 建物減価償却累計額 | <input type="text"/> |
| 車 | 両 | <input type="text"/> | 車両減価償却累計額 | <input type="text"/> |

(2) (単位: 円)

| 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|---------|-----|---------|-----|
|         |     |         |     |
|         |     |         |     |

(3) 決算整理後残高試算表 (単位: 円)

|           |   |                      |           |                      |
|-----------|---|----------------------|-----------|----------------------|
| 建         | 物 | <input type="text"/> | 建物減価償却累計額 | <input type="text"/> |
| 車         | 両 | <input type="text"/> | 車両減価償却累計額 | <input type="text"/> |
| 減 価 償 却 費 |   | <input type="text"/> |           |                      |

問 2

(1) 決算整理前残高試算表 (単位: 円)

|   |   |                      |  |
|---|---|----------------------|--|
| 建 | 物 | <input type="text"/> |  |
| 車 | 両 | <input type="text"/> |  |

(2) (単位: 円)

| 借 方 科 目 | 金 額 | 貸 方 科 目 | 金 額 |
|---------|-----|---------|-----|
|         |     |         |     |
|         |     |         |     |

(3) 決算整理後残高試算表 (単位: 円)

|           |   |                      |  |
|-----------|---|----------------------|--|
| 建         | 物 | <input type="text"/> |  |
| 車         | 両 | <input type="text"/> |  |
| 減 価 償 却 費 |   | <input type="text"/> |  |

解 答 11 減価償却(2)

問 1

(1)

決算整理前残高試算表

(単位：円)

|   |   |         |           |         |
|---|---|---------|-----------|---------|
| 建 | 物 | 700,000 | 建物減価償却累計額 | 283,500 |
| 車 | 両 | 200,000 | 車両減価償却累計額 | 35,000  |

(2)

(単位：円)

| 借 方 科 目   | 金 額    | 貸 方 科 目   | 金 額    |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 減 価 償 却 費 | 65,250 | 建物減価償却累計額 | 31,500 |
|           |        | 車両減価償却累計額 | 33,750 |

(3)

決算整理後残高試算表

(単位：円)

|           |   |         |           |         |
|-----------|---|---------|-----------|---------|
| 建         | 物 | 700,000 | 建物減価償却累計額 | 315,000 |
| 車         | 両 | 200,000 | 車両減価償却累計額 | 68,750  |
| 減 価 償 却 費 |   | 65,250  |           |         |

問 2

(1)

決算整理前残高試算表

(単位：円)

|   |   |         |  |  |
|---|---|---------|--|--|
| 建 | 物 | 416,500 |  |  |
| 車 | 両 | 165,000 |  |  |

(2)

(単位：円)

| 借 方 科 目   | 金 額    | 貸 方 科 目 | 金 額    |
|-----------|--------|---------|--------|
| 減 価 償 却 費 | 65,250 | 建 物     | 31,500 |
|           |        | 車 両     | 33,750 |

(3)

決算整理後残高試算表

(単位：円)

|           |   |         |  |  |
|-----------|---|---------|--|--|
| 建         | 物 | 385,000 |  |  |
| 車         | 両 | 131,250 |  |  |
| 減 価 償 却 費 |   | 65,250  |  |  |

## 【解答への道】(単位：円)

## 問 1

(1)

決算整理前残高試算表

|   |      |         |              |         |
|---|------|---------|--------------|---------|
| 建 | 物※ 1 | 700,000 | 建物減価償却累計額※ 2 | 283,500 |
| 車 | 両※ 1 | 200,000 | 車両減価償却累計額※ 3 | 35,000  |

※ 1 取得原価

※ 2 期首減価償却累計額： $700,000 \times 0.9 \times \frac{\text{償却済9年}}{20\text{年}} = 283,500$

※ 3 期首減価償却累計額： $(200,000 - \text{新規}60,000) \times 0.25 = 35,000$

(2) 決算整理

① 建物

|            |        |   |           |        |
|------------|--------|---|-----------|--------|
| 減 価 償 却 費※ | 31,500 | / | 建物減価償却累計額 | 31,500 |
|------------|--------|---|-----------|--------|

※  $700,000 \times 0.9 \times \frac{1\text{年}}{\text{耐用年数}20\text{年}} = 31,500$

② 車両

|            |        |   |           |        |
|------------|--------|---|-----------|--------|
| 減 価 償 却 費※ | 33,750 | / | 車両減価償却累計額 | 33,750 |
|------------|--------|---|-----------|--------|

※ 既存分  $(140,000 - \text{首減累}35,000) \times 0.25 = 26,250$   
 新規分  $60,000 \times 0.25 \times \frac{6\text{月}}{12\text{月}} = 7,500$  } 33,750

## 問 2

(1)

決算整理前残高試算表

|   |      |         |  |
|---|------|---------|--|
| 建 | 物※ 1 | 416,500 |  |
| 車 | 両※ 2 | 165,000 |  |

※ 1 期首帳簿価額： $700,000 - \text{首減累}283,500 = 416,500$

※ 2 期首帳簿価額： $200,000 - \text{首減累}35,000 = 165,000$

(2) 決算整理 (減価償却計算は問 1 参照)

① 建物

|           |        |   |   |   |        |
|-----------|--------|---|---|---|--------|
| 減 価 償 却 費 | 31,500 | / | 建 | 物 | 31,500 |
|-----------|--------|---|---|---|--------|

② 車両

|           |        |   |   |   |        |
|-----------|--------|---|---|---|--------|
| 減 価 償 却 費 | 33,750 | / | 車 | 両 | 33,750 |
|-----------|--------|---|---|---|--------|

## 第5回

# 株式会社の簿記一巡

### ◆ 株式会社の簿記一巡

株式会社の簿記一巡については、税理士試験の学習においてプラットフォームとなるものであるため、十分な理解が必要となる。

**問題 12** を用いて、株式会社の簿記一巡を再確認してほしい。

~~~~~

問 題 12 株式会社の簿記一巡

基礎

— 35分 —

株式会社CATの下記の【資料】に基づいて、次の問に答えなさい。なお、当期は4月1日から3月31日までとする。

- 問1 再振替仕訳を示しなさい。
 問2 営業仕訳を示しなさい。
 問3 決算整理前残高試算表を作成しなさい。
 問4 決算整理仕訳を示しなさい。
 問5 決算整理後残高試算表を作成しなさい。
 問6 決算振替仕訳を示しなさい。
 問7 繰越試算表を作成しなさい。
 問8 貸借対照表と損益計算書を作成しなさい。

【資料1】 前期末における繰越試算表

繰 越 試 算 表				(単位：千円)	
現 金 預 金	70,000	未 払 営 業 費	500		
繰 越 商 品	8,000	未 払 法 人 税 等	4,500		
		資 本 金	50,000		
		利 益 準 備 金	10,000		
		繰 越 利 益 剰 余 金	13,000		
	78,000		78,000		

【資料2】 営業取引（収支はすべて現金預金勘定により処理）

- (1) 商品51,000千円を仕入れた。
- (2) 法人税等の確定納付額4,500千円を納付した。
- (3) 商品80,000千円（売価）を売り上げた。
- (4) その他利益剰余金（繰越利益剰余金）の配当8,000千円及びそれに伴う利益準備金の積立800千円を行った。
- (5) 法人税等の中間納付額4,000千円を納付した。
- (6) 営業費3,100千円を支払った。

【資料3】 決算整理事項

- (1) 期末商品棚卸高7,000千円
- (2) 未払営業費400千円
- (3) 法人税等の年税額10,000千円を算定し、この金額から中間納付額4,000千円を控除した金額を未払分として計上した。

答案用紙12 株式会社の簿記一巡

問1 再振替仕訳 (単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額

問2 営業仕訳 (単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				

問3 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表 (単位：千円)

現金	預金	資本	金
繰越	商品	利益	準備金
仕入		繰越利益	剰余金
営業	費	売	上
法人	税等		

問4 決算整理仕訳 (単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額

問5 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表 (単位：千円)

現金	預金	未払	営業費
繰越	商品	未払	法人税等
仕入		資本	金
営業	費	利益	準備金
法人	税等	繰越利益	剰余金
		売	上

問6 決算振替仕訳

(1) 収益の損益勘定への振替 (単位: 千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額

(2) 費用の損益勘定への振替 (単位: 千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額

(3) 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替 (単位: 千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額

問7 繰越試算表

繰越試算表 (単位: 千円)

現金預金	未払営業費
繰越商品	未払法人税等
	資本金
	利益準備金
	繰越利益剰余金

問8 貸借対照表及び損益計算書

貸借対照表 (単位: 千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金及び預金		未払費用	
商 品		未払法人税等	
		資 本 金	
		利 益 準 備 金	
		繰越利益剰余金	
合 計		合 計	

損益計算書 (単位: 千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価		売 上	
営 業 費			
法 人 税 等			
当期純利益			
合 計		合 計	

解 答 12 株式会社の簿記一巡

問1 再振替仕訳

(単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
4/1	未払営業費	500	営業費	500

問2 営業仕訳

(単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	仕入	51,000	現金預金	51,000
(2)	未払法人税等	4,500	現金預金	4,500
(3)	現金預金	80,000	売上	80,000
(4)	繰越利益剰余金	8,800	現金預金	8,000
			利益準備金	800
(5)	法人税等	4,000	現金預金	4,000
(6)	営業費	3,100	現金預金	3,100

問3 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表 (単位：千円)

現金預金	79,400	資本金	50,000
繰越商品	8,000	利益準備金	10,800
仕入	51,000	繰越利益剰余金	4,200
営業費	2,600	売上	80,000
法人税等	4,000		
	145,000		145,000

問4 決算整理仕訳

(単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31	仕入	8,000	繰越商品	8,000
"	繰越商品	7,000	仕入	7,000
"	営業費	400	未払営業費	400
"	法人税等	6,000	未払法人税等	6,000

問5 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表 (単位：千円)

現金預金	79,400	未払営業費	400
繰越商品	7,000	未払法人税等	6,000
仕入	52,000	資本金	50,000
営業費	3,000	利益準備金	10,800
法人税等	10,000	繰越利益剰余金	4,200
		売上	80,000
	151,400		151,400

問6 決算振替仕訳

(1) 収益の損益勘定への振替

(単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31	売上	80,000	損益	80,000

(2) 費用の損益勘定への振替

(単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31	損益	65,000	仕入	52,000
			営業費	3,000
			法人税等	10,000

(3) 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替

(単位：千円)

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31	損益	15,000	繰越利益剰余金	15,000

問7 繰越試算表

繰越試算表 (単位：千円)

現金預金	79,400	未払営業費	400
繰越商品	7,000	未払法人税等	6,000
		資本金	50,000
		利益準備金	10,800
		繰越利益剰余金	19,200
	86,400		86,400

問8 貸借対照表及び損益計算書

貸借対照表

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金及び預金	79,400	未払費用	400
繰越商品	7,000	未払法人税等	6,000
		資本金	50,000
		利益準備金	10,800
		繰越利益剰余金	19,200
合計	86,400	合計	86,400

損益計算書

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	52,000	売上	80,000
営業費	3,000		
法人税等	10,000		
当期純利益	15,000		
合計	80,000	合計	80,000